



慈光院

静かに時を超える、秀長の眠る地

H 大納言塚

だいなごんづか

豊臣秀長の墓所。天正19年(1591年)、郡山城内で亡くなった秀長がここに葬られました。豊臣家滅亡後、この墓所は荒れていましたが、安永6年(1777年)に春岳院の僧と郡山町の人々によって整備され、高さ約2メートルの五輪塔が建てられました。市指定史跡。現在も市民により法要が営まれ続けています。



城下町を見守る、暮らしの八幡さま

I 郡山八幡神社

こおりやまはちまんじんじゃ

郡山城築城にあわせて現在地に遷座した柳町の古社で、地元では「柳八幡宮」として親しまれています。境内には現在も城の堀に沿って築かれた土塁が残存しています。現在は「クラブ神社」として、野球上達の祈願や使い続けたクラブの供養が行われる、全国でも珍しい神社です。



物語が息づく、狐と信仰の聖地

J 源九郎稲荷神社

げんくろういなりじんじや

歌舞伎・文楽に登場する「源九郎狐」を祀る神社です。日本三大稲荷の一つとされ、五穀豊穡や商売繁盛の神様として信仰を集めています。郡山城主・豊臣秀長が、白狐「源九郎」の靈験に感服し、城の守護として祀らせたことに始まる由緒あるお稲荷さんです。



暮らしの知恵に出会う、城下町の町家

K 町家物語館

(旧川本家住宅)

まちやものがたりかん(きゅうかわもとけいじゅうたく)

町家物語館は、洞泉寺に残る大正期の遊郭建築で、大正11年に納屋と蔵、13年に本館と座敷棟が建てられた。当時でも珍しい木造三階建ての建物です。昭和33年の廃業後は下宿として使われ、今も意匠を凝らした欄間などが良好な状態で残り、平成26年に登録有形文化財となりました。

●開館時間:9:00~17:00(入館は16:30まで) ●休館日:月曜(祝日の場合は翌平日)・祝日の翌平日・年末年始 ●入館無料



城跡を歩く、緑と水の散策路

L 外堀緑地

そとはりよち

郡山城の外堀跡を生かして整備された公園です。公園がある外堀東辺は、かつての秋篠川を堀として整備したと伝わっています。「常念寺裏澤」から「洞泉寺裏澤」までが外堀緑地としてつながり、郡山城柳大門をイメージした南門の高麗門と北門の冠木門が、往時の城下町の雰囲気を感じさせています。



商人の息遣いが残る、城下町の記憶

M 箱本館「紺屋」

はこもかん「こんや」

箱本館「紺屋」は、享保13年頃から代々染物屋を営んだ奥野家の町家を再生した観光施設です。館内では「箱本十三町」ゆかりの資料や、金魚モチーフの美術工芸品「金魚コレクション」を展示、藍染商品の販売やセルフコーヒーでの休憩もできます。

●開館時間:9:00~17:00 ●休館日:月曜(祝日の場合は翌平日)・祝日の翌平日・年末年始 ●入館無料



歩くだけで楽しい、金魚が彩る商店街

N 金魚ストリート

(やなぎまち商店街)

きんぎょとーとー(やなぎまちしょうてんがい)

柳町商店街は、別名「金魚ストリート」と呼ばれ、商店街の店先にはさまざまな水槽が並び、色とりどりの金魚が元気に泳いでいます。また、商店街の取り組みとして、各店舗に「金魚印」が設置されています。

●金魚印(無料)と御金魚帖は商店街店舗の「とん」・「本家菊屋」・「成興」にて販売。



秀長ゆかりの、静寂に包まれた古刹

O 春岳院

しゅんがくいん

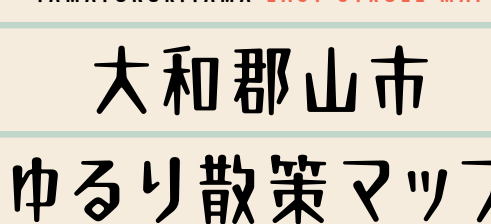
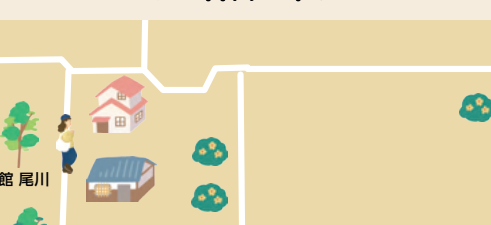
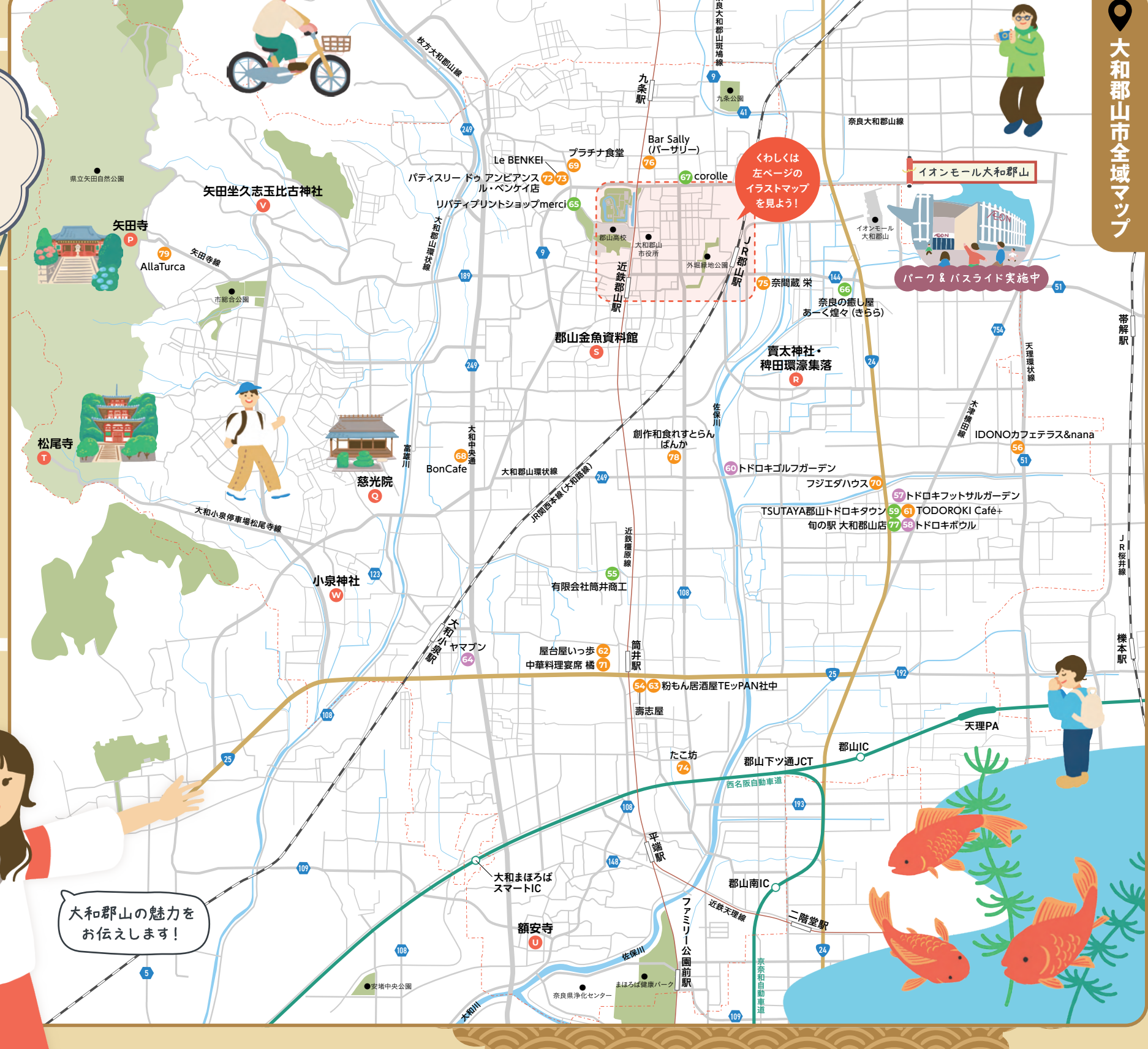
豊臣秀長の菩提寺です。豊臣家の滅亡により、当初の菩提寺・大光院が京都へ移された際、位牌と墓所(大納言塚)の管理を託されました。もともと東光院としていましたが、秀長の戒名より現在の院号となりました。秀長が礎を築いた郡山下の商工業者特権は、「箱本制度」に発展し、江戸時代の城下にも受け継がれました。

●9:00~16:30 ●年末年始 ●拝観料:500円



大和郡山市 ゆるり散策マップ

YAMATOKORIYAMA EASY STROLL MAP

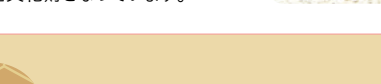


あじさいに包まれる、癒しの古寺

P 矢田寺

やたでら

矢田丘陵・矢田山腹に建つ矢田寺は、平安時代以来、山岳修験や地藏信仰に隆盛とともに栄え、日本最古の延命地蔵菩薩やまなめ地蔵などを祀り「矢田のお蔵さん」と親しまれています。初夏には境内一帯に色とりどりの紫陽花が咲き誇り、「あじさい寺」として多くの人々を魅了する静かな癒やしの名所です。本尊をはじめ、多くの仏像や本堂、絵画などの資料が指定文化財となっています。



茶の心にふれる、静謐の名庭

Q 慈光院

じこういん

慈光院は、小泉藩主・片桐貞昌が寛文3年(1663年)に創建した臨済宗大徳寺派の寺院で、初代藩主である父貞隆の菩提寺です。書院から眺める枯山水庭園は国指定史跡・名勝で、わび・さびの趣が格別。茶室や書院、手鉢も国の重要文化財に指定されており、茶席で抹茶をいただくながら、境内全体を一つの茶席と見立てた静かで風雅な空間を味わえます。



語り部伝承が残る、歴史の里

R 賣太神社・稗田環濠集落

めたじんじや・ひえだかんごうしやうらく

賣太神社は、日本最古の歴史書「古事記」の編纂者・稗田阿礼命をお祀りし、近年は童話の神様としても親しまれています。周囲に広がる稗田環濠集落は、鎌倉時代以降に築かれた環濠集落の一つで、防御や灌漑などの役割を担った環濠が完全な形で残る、市指定史跡です。



金魚の歴史と文化を知る資料館

S 郡山金魚資料館

こおりやまきんぎょしやうかん

昭和57年、嶋田氏が私費を投じて開館した、私立金魚資料館です。金魚の原種から高級金魚、貴重な保存品種まで約40種類が展示され、歴史資料とともに一年中じっくり金魚観賞を楽しめます。

●開館時間:10:00~17:00 ●休館日:月曜 ●入館無料



日本最古、厄除け信仰の寺

T 松尾寺

まつおでら

松尾寺は、天武天皇の皇子・舎人親王の建立と伝わる松尾山真言宗の寺院で、日本最古の厄除け堂として知られます。国指定重要文化財の本堂をはじめ、貴重な仏像や絵画など多くの指定文化財を有し、「まつのおさん参り」の厄除け信仰や色鮮やかなバラ園で親しまれています。



飛鳥の面影残る、歴史の寺院

U 額安寺

かくあんじ

額安寺は、飛鳥時代創建と伝わる古寺で、聖徳太子が学んだ熊凝精舎跡に建立されたといわれます。鎌倉時代に取尊・忍性らが再興し、大和建築様式の本堂(市指定文化財)には各時代の瓦が用いられています。日本で三番目に古い銘をもつ宝篋印塔も残ります。



航空神と国重文の古社

V 矢田坐久志玉比古神社

やたにいますくしまひこじんじや

祭神は櫛玉饒速日神・御炊屋姫神で、櫛玉饒速日神が鸕鷀に乗って天から飛来した神話から「航空の神様」として厚く信仰されています。室町時代建立とされる本殿と、西側に並ぶ八幡神社社殿は国の重要文化財。また、9月20日「航空の日」には毎年「航空祭」が催され、多くの参拝者で賑わいます。



地域に寄り添う、祈りの社

W 小泉神社

こいずみじんじや

祭神は素戔嗚命・善田別命・牛頭天王で、本殿は国の重要文化財に指定されています。小泉城から移築された表門や、雨乞いの水神として信仰される九頭天王社を有します。境内には木造女神像(市指定文化財)のほか、浪速犬など多くの狛犬があり、狛犬ファンにも人気の神社です。

